

La Petite Bande ラ・プティット・バンド

1972年S.クイケンとG.レオンハルトにより結成されたバロック・オーケストラ。その名称と構成は、ルイ14世の宮廷におけるリュリのオーケストラにちなんでいる。

レコード会社のドイツ・ハルモニア・ムンディが録音する、グスタフ・レオンハルト指揮のリュリの「町人貴族」のために、会社の提案で組織される。アンサンブルの名称とメンバーの数は、ルイ14世の宮廷でのリュリ自身のオーケストラを規範としている。楽団の目的は、古楽器（作曲家当時のオリジナル楽器またはそのコピー）や正統的（オーセンティック）な演奏習慣、オリジナルな演奏技法を用いて、音楽を正統的な形で復活すること、歴史的に忠実な響きと、形式的ではない音楽を実現することにある。

録音が大成功だったためにオーケストラは定期的にコンサートや音楽祭に招かれるようになり、結局、恒常的な団体として活動するこ

とになる。結成以来、レオンハルトとS.クイケンが指揮を分け合ってきたが、S.クイケンが常任指揮者を務めている。今日ではそのレパートリーも、もはや当初のフランス・バロック音楽に留まらず、コレリやヴィヴァルディなどのイタリア・バロック、バッハやヘンデルのドイツ盛期バロック、さらにハイドンやモーツァルトといったウィーン古典派にまでおよび、国際的にその演奏は高い評価を得ている。1993年に初来日、ハイドンの天地創造で日本のファンにその実力を披露、以後定期的に来日し、歴史を誇るバロック・オーケストラのバイオニアとして高い水準の演奏で毎回聴衆を魅了している。

ヨーロッパ各地の主要な音楽祭、コンサートホールにも常に登場しており、その自然で美しい演奏は現在増えてきているオリジナル楽器のオーケストラの最高峰と称されている。

Profile 出演者プロフィール

音楽
監督

シギスヴァルト・クイケン

Sigiswald Kuijken 担当パート バロック・ヴァイオリン I



1944年ブリュッセル近郊生まれ。64年にブリュッセルの音楽院を卒業。若い頃から、兄ヴィーラントとともに古楽に親しみ、独学で17～18世紀の演奏技術と演奏習慣を徹底して身につけた。これを契機に1969年、あこで楽器を支えず自由に肩に持たせかける奏法をはじめ、これはヴァイオリン音楽へのアプローチに決定的な影響を及ぼし、70年代初めから多くの奏者たちによって続々と採用されることになった。64年から72年までの間、アラリウス・アンサンブルの一員として活動し、その後も兄弟であるヴィーラントとパルトルド、グスタフ・レオンハルト、ロベール・コーネン、アンナー・ビルスマ、フランス・ブリュッヘン、ルネ・ヤコブスと個性的な室内楽プロジェクトを立ち上げている。

72年ラ・プティット・バンド結成。シギスヴァルトは恒久的なリーダーとして精力的な活動を続けている。86年クイケン弦楽四重奏団結成。98年以来、しばしば「モダン」の交響楽団を指揮し、シューマン、ブラームス、メンデルスゾーンなどのロマン派のレパートリーにも取り組んでいる。

2004年シギスヴァルトの研究により復元された「ヴィオロンチェロ・ダ・スバッラ」でバッハ時代のチェロ・パートを演奏し注目を集める。71年から96年までハーグ音楽院、同時に93年から2009年はブリュッセルの王立音楽院で教鞭をとっている。その他、ロンドンのロイヤル・カレッジ、シエナのキジアーナ音楽院、ジュネーブ音楽院、ライプツィヒ音楽大学等で客員教授として教えている。

2007年2月にルーヴェン・カトリック大学より名誉博士号を授与、2009年2月にはフランドル政府より「生涯功労賞」が授与された。

 <p>オフエル・フレンケル Ofer Frenkel <small>担当パート</small> バロック・オーボエ</p>	 <p>ヴァンシャンス・ボウドユイン Vinciane Baudhuin <small>担当パート</small> バロック・オーボエ</p>	 <p>バンジャマン・アラール Benjamin Alard <small>担当パート</small> チェンバロ</p>	 <p>アンネ・プストラウク Anne Pustlauk <small>担当パート</small> バロック・フルート (フラウト・トラヴェルソ)</p>
 <p>ロナン・ケルノア Ronan Kerno <small>担当パート</small> バロック・チェロ</p>	 <p>サラ・クイケン Sara Kuijken <small>担当パート</small> バロック・ヴァイオリン II</p>	 <p>マルレーン・ティアーズ Marleen Thiers <small>担当パート</small> バロック・ヴィオラ</p>	 <p>アンナ・グシュヴェンド Anna Gschwend <small>担当パート</small> ソプラノ</p>